

大学の夏休みが始まります。新入生の皆さんもだいぶ大学生活になじんできたようです。お子さんも、自分なりのベースができてきた頃でしょうか。

今回は、大学にあまり来ない大生について、ご紹介します。

大学の外で自分の道を模索し、自分の道を決めようともがきながらこの時代を過ごすのは、今も昔も変わらぬ、大学に來ない大生のひとつの姿でしょう。そのような大生には、自分なりに納得できる結論が出るまで、多少回り道でも試行錯誤を応援したい気持ちになります。

その一方で、大学に來ない生活が一種の習慣となってしまうと、なかなかそこから抜けられないという学生もいるようです。夜のアルバイトなどの負担が多い場合も大学に來るきつかけをなくしてしまいがちです。学校に通わない日を積み重ねるほど、行きにくくなるものです。今さら行ってもしかたがないという気持ちも起こってくるかもしれ

ません。また、久しぶりに出席して、先生に怒られるのではと気に病む学生もいます。休むほどに、大学に対して複雑な気持ちが積も

って、素直に行ってみようかなと思えなくなってもくるようです。

もし、お子さんが、こんな、大学に対して複雑な気持ちを持ちつつ悶々としているようなら、お伝え

てください。このあたりでちよつと気分転換してみませんか、と。

学生相談室では、ご本人が今後の生活をどのように進めてゆきたいのか、考えるお手伝いをしていきます。相談という、慣れないことをしてみること自体が、ちよつとした気分転換になる場合もあります。

学 生 相 談 室

だ よ り 53

カウンセラー・教授 改田 明子

また、習慣の問題が大きければ、うまく生活が軌道に乗るようにお手伝いします。その他、ご本人の必要に応じた支援をオーダーメイドで一緒に考えてゆきます。どうぞお気軽に学生相談室をご利用ください。親御さんからの相談もお待ちしています。